

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と 持続可能な海域利用検討会

第1回 検討会

平成23年5月30日
知床世界遺産センター レクチャールーム

環境省

議事次第

1. 開会挨拶
2. 参加者のご紹介
3. 議 事
 - (1) 検討会の目的・進め方について
 - (2) 検討会の今年度計画
 - 海鳥調査計画について
 - デコイの設置について
 - 利用者動向アンケート調査
 - 海域状況(海鳥)観察の試験実施について
 - (3) その他
 - 検討会名称について
 - (4) 意見交換
4. 閉会



(1) 検討会の目的・進め方について



検討会の目的・進め方について

- ・ 世界遺産地域の海域の価値を高める
- ・ エコツーリズム戦略の策定を視野に入れたモデルケース
 - 多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継ぐ
 - 利用者により良い自然体験を提供
 - 地域経済の発展の促進



ウトロ海域を利用する人間と海鳥の双方にとって好ましい状態の創出
(Win-Winの関係)

ウトロ海域を利用する全ての関係者それぞれにとって好ましい状態の創出
(Win-Win-Win-・・・の関係)

検討会の位置づけ

適正利用・エコツーリズム検討会議

構成員：関係行政機関、関係民間団体、専門家
議題：知床世界自然遺産地域の利用に関する基本的な方針の検討（エコツーリズム戦略の策定など）

・エコツーリズム戦略に反映
・検討結果を報告

・必要に応じ助言
・全体方針との整合性の確保

知床五湖についての会議

カムイワッカ湯の滝についての会議

マイカー規制についての会議

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会

構成員：ウトロ海域に係る団体/機関等
議題：ウトロ海域の利用に関すること

適正利用・エコツーリズム検討会議
羅臼湖個別会合

検討会の進め方

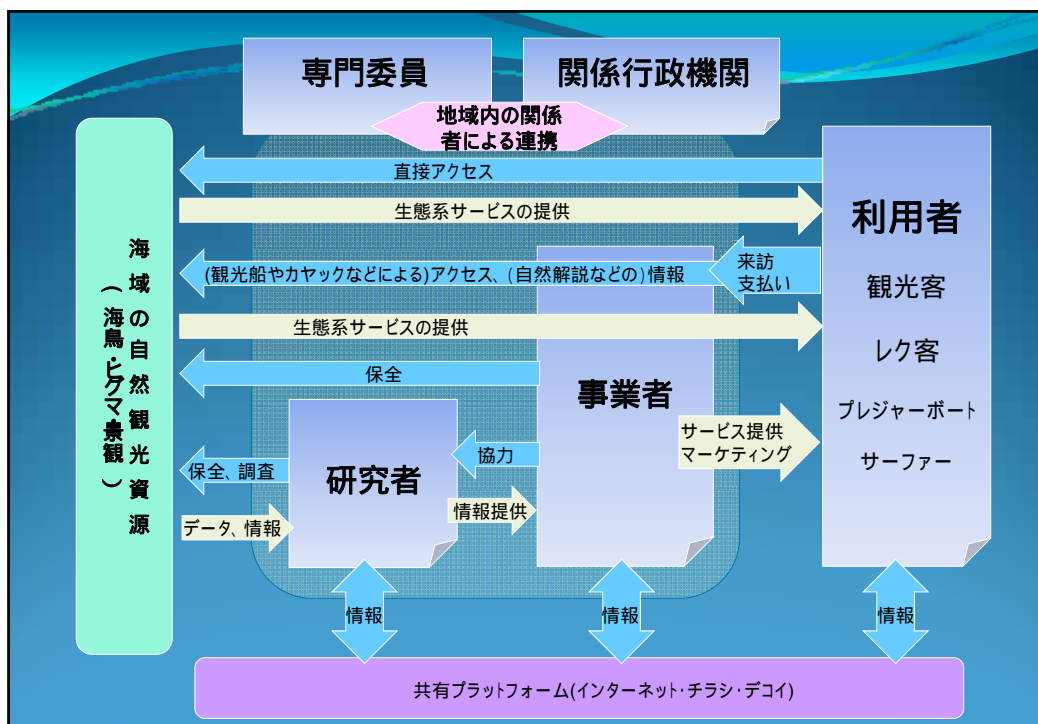
遺産地域の環境を維持しながら、海域の利用を行う中で、より好ましい状態にするにはどうしたらよいかを検討する。

「規制」を念頭においたものではなく、規制を作らずに海鳥保護と海域の利用がうまく回っていく仕組み作りを目指していきたい。

そのために、関係者みんなで実態調査や利用のあり方を考えながら進めていきたい。

海域の環境には、海鳥以外にも魚類や海獣類などがあり、加えてヒグマなどの陸上哺乳類や断崖などの海から見た景観などが考えられる。

その中でも国際的に希少で、国内・道内で観察できる場所が限られているケイマフリを本検討会の重要対象種として位置づけ、保全と利用のwin-winの関係を目指したい。



(2) 検討会の今年度計画

海鳥調査計画およびデコイの設置について
利用者動向アンケート調査
海域状況(海鳥)観察の試験実施について



平成23年度実施計画

興味を持つ・知ってもらう

- ・ ケイマフリなどの海鳥に興味を持つ
- ・ 知床の海域のおもしろさを伝える

<利用者に対して>

- ・ 利用施設での展示
- ・ 船内アナウンスなどでの紹介
- ・ 取り組み紹介(調査結果などを含む)
- ・ テラシの配布
- ・ ホームページの作成
- ・ エコツアー商品としてのブランド化

<実施主体として>

- ・ 利用者へのアンケート実施
- ・ みんなで簡易な調査を行う(地図にマーク、写真による記録など)
- ・ 詳しいモニタリング調査

<環境への配慮>

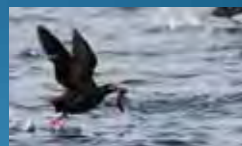
- ・ デコイの設置
- ・ より好ましい利用形態の検討(例えば、ゾーニングや新たなルート開発など)

検討会の年次スケジュール

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
自然観光資源の価値の向上			
ケイマフリ繁殖地の再生実験	デコイ製作	デコイ設置、誘引効果 モニタリング	誘引効果モニタリング
海鳥の生態調査 ・ウトロ～岬の分布 ・生息状況、採食状況	生態調査 ・本調査 ・モニタリング	生態調査 ・追加調査 ・モニタリング	生態調査 - ・モニタリング
利用機会の拡大			
利用動向調査	予備調査 (利用者アンケート)	本格調査 (利用者アンケート)	本格調査 (利用者アンケート)
魅力的な利用形態	-	より好ましい利用形態の検討	より好ましい利用形態への 取り組み実施
各種海域利用者間の調整			
漁業、遊漁、シーカヤック等の 状況把握	関係者ヒアリング 課題整理	実態調査	検討・調整
広報普及啓発			
海域利用の楽しみ方のPR	小冊子作成	パンフレットの活用 インターネットによる情報提供 ミニ出前講座の開催	観察会開催等

()海鳥調査計画について

- 海鳥の海上センサス調査
5月上旬～10月上旬
- 海鳥の生息状況調査
(1)ケイマフリ生息状況調査(5月～8月)
(2)ケイマフリの営巣分布調査(6月～8月)
(3)海鳥の繁殖分布状況調査(6月～8月)
- ケイマフリの採食・食性調査
5月上旬～10月上旬



()デコイの設置について

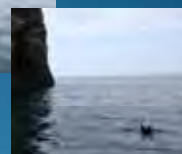
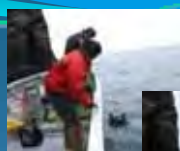
- 平成23年5月18日 水上デコイを初設置
- 今後のデコイ設置計画

- コケシ岩

ケイマフリ営巣地の復活を目指して設置。今後の状況を見て設置デコイの追加や陸上設置を検討。

- 普及啓発用デコイの設置

観光船説明用デコイの設置も検討観光客から見易い所や、説明をしやすいタイミングの場所。



()利用者動向アンケート調査

● 観光船利用者を対象

・配布時期 前期(海鳥繁殖期) :6月~7月
後期(海鳥非繁殖期) :8月~9月

・観光船窓口配布と直接配布 (昨年同様)

・期、大型船・小型船、航路、団体・個人の集
計単位別に目標回答数100とし配布

・他の陸上アンケート調査と設問内容の調整



()海域状況(海鳥)観察の試験実施について

● 観光船事業者による海鳥観察記録の提案

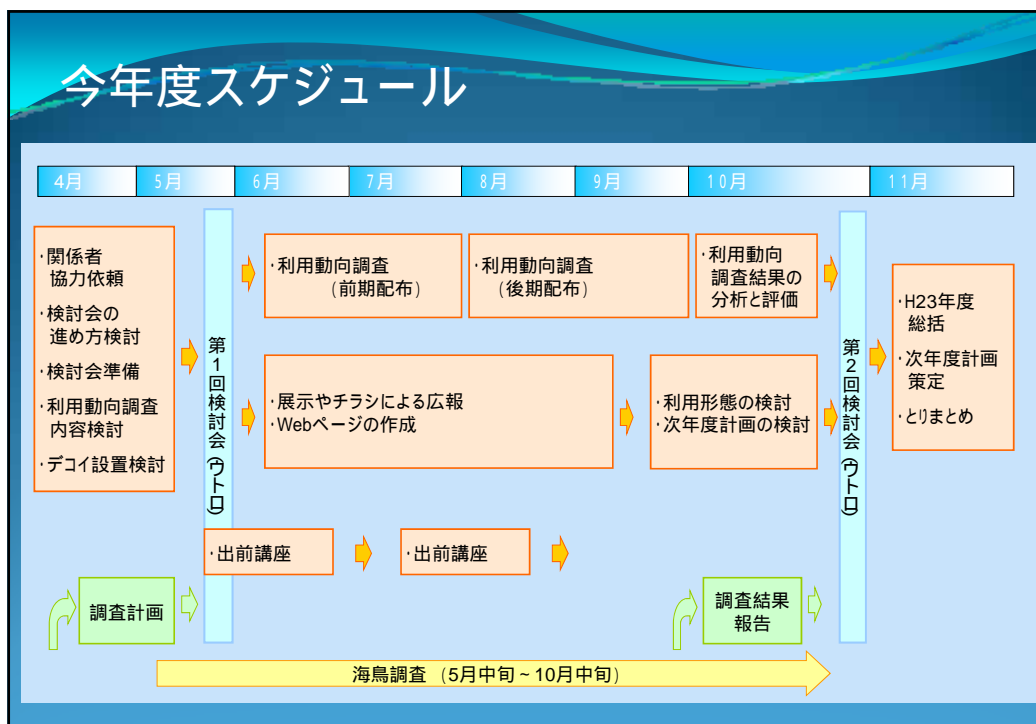
● 概要 運行時に見られる海鳥の観察記録を付けてもらい海鳥の生息状況の変化や、デコイの設置による効果の観察を行ってもらい、海鳥生息環境の監視効果と海鳥への関心度の向上や、観察データの蓄積により、観光サービスの向上効果にも期待。

● 期待される効果

・デコイ設置による効果の検証
・海域環境変化の監視 異常発生時の迅速な対応に貢献
・データ蓄積による海鳥の生息状況把握に貢献。サービスへも活用可能
・保護活動の実践としてPR 知床の観光船の意識の高さをアピール
・海鳥生息状況の把握により、ガイド内容が充実
・専門家、研究者、観光船事業者との連携体制の構築

● 実施のための支援

・海鳥の観察技術などを支援 「海鳥ミニ出前講座」開催や資料提供
・蓄積データの活用方法の検討 インターネットで旬な情報を公開



(3) その他

検討会名称について



オジロワシ

- 本会議を知床世界自然遺産適正利用・エコツーリズム検討会議の部会として位置づける。
- ウトロ海域に関わるすべてのもの(自然環境、関係者等)の持続可能な利用を検討する。

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と
持続可能な海域利用検討会



適正利用・エコツーリズム検討会議 ウトロ海域個別会合

(4) 意見交換

